

## 大阪国税局長賞



### 令和の未来と税

神戸市立玉津中学校

三年 <sup>よし</sup> <sup>だ</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>ん</sup>  
吉田 英桜音

「税金を払う」といえば今まではネガティブなイメージしかありませんでした。しかし税を広く知ることその思いは変わり、またこれからの未来にどう活かすべきか、考える事ができます。

これまで財政赤字が続く日本では、納税しても焼け石に水といったところで、借金が減っている事はありません。その上少子高齢化も続き、国民の負担は増すばかりの様に感じます。はたしてこのままで良いのだろうか？よりよい納税の仕方や使い方を今一度考えていくべき時なんだろうと思います。

昨年5月1日から新しい時代、令和がはじまりました。「人々が美しく心を寄せあう中で文化が生まれ、育つ」という意味があるそうです。9月にはラグビーW杯が行われ、日本はベスト8まで進出し、「ONE TEAM」のすばらしさを実感しました。10月には消費税が10%に引き上げられ、とまどいながらも、世界の国に比べて日本の消費税が安い事に少し驚いた。その後は予想もできない台風で東日本が甚大な被害を受け、つい先日九州をはじめ、岐阜でも豪雨による河川の氾濫など大きな災

害にみまわれました。そして今、私達は見えないウイルスと戦いながら日々生活を続けています。今こそ、税金を有効に使っていかなくてはいけない時に経済は止まり、先の見えないトンネルに入ってしまったように感じます。今回、コロナウイルスによって働けない人達には給付金が支払われ、皆が苦しい中でも助けあいながら、前に進んでいるのは、税金を納めていたからだと思えます。災害にあわれた方や病気になった方の医療費をはじめ、命や生活を守る警察、消防などの公共サービス、災害復興の土木費、企業や経済、観光の商工費、お年寄りや体の不自由な方への民生費、そして私達が一番お世話になっている教育費、公立の中高生は、一人あたり一年間で約百万円かかっている事を知り、改めて国民が納める税の有難さを感じました。国民の血税といわれますが、まさに厳しい経済状況の中で、一人ひとりが納める生きた税は、未来のためにしっかり使っていくべきだと思います。そのためには無駄を削り、皆が協力しあうこと、がまんしなくてはいけない事も多くなることは覚悟の上で、負担と受益のバランスをとりすすめていくべきだと思います。

あと3年で私達は18歳になり、選挙権が与えられます。今までは見ていただけだったけれど今度は自分で国会議員や地方議員を選びます。県や国の予算、税がどの様に使われるのかをしっかりと考え、誰に託すべきか？今から見極める目を養うシミュレーションをしていきます。厳しい時だからこそ、令和の名に恥じないよう、税をとおして美しく心寄せあい、文化や人を育てていける時代にしていきたいと思えます。

### 林小学校HP『行事』より

青年部活動報告

#### 行事 - 2020年度

2020年 11月 20日 金 6年

#### 租税教室



国や町を支える税金について勉強をしました。税金の種類や仕組みを改めて学び、その大切さを知りました。動画では、税金が無くなった世界を描いたアニメを見て、子どもたちは驚いていました。最後は一億円の重さを肌で実感し、学習終了です。ご家庭で、どんな話だったか、また聞いてあげてください。

#### 小学生の 『税に関する書道・ポスター』 副賞について



入賞された方には、副賞として各団体から、入賞作品をラベルにプリントした世界で一つのオリジナル「only you CAN (缶)」を贈呈いたしました。

ご希望の保護者の皆様にもお譲りいたしますので、FAXまたはメールでお申込みください。